

週 間 日 程 表

12/2 (火)	開始式	民事第1審手続の概観 (講義)		民弁問題研究1 (事案分析)	
		持参資料 ・第3版民事訴訟第一審手続の解説 ・同 別冊記録		持参資料 ・「司法修習開始までの準備について」(別紙第5-2 民事弁護事前課題の要領) ・民事弁護修習記録第161号(第1分冊) ・民事弁護修習記録第161号(第2分冊) ・事前課題起案の写し ・導入修習 民事弁護カリキュラムの概要(プリント) ・7訂民事弁護の手引 ・民事弁護の基礎知識(増補版)	
12/3 (木)	刑裁講義(事前課題解説等) 持参資料 ・「司法修習開始までの準備について」(別紙第3-2 刑事裁判事前課題(設問2と自身の手控え)) ・刑事共通演習基礎(公判前整理手続)実施要領	検察導入講義 持参資料 ・第68期司法修習 検察導入修習講義参考事例 ・検察事前課題に関する起案写し、メモ、手控え等 ・平成24年版検察講義案 ・検察 終局処分起案の考え方(平成24年版) ・検察演習問題(改訂版) ・検察起案作成上の注意点	刑弁講義1 持参資料 ・平成26年版刑事弁護実務 ・平成26年版(補訂版)刑事弁護実務 ・平成26年版刑事弁護実務(別冊巻式編) ・刑事弁護講義ノート(平成25年7月版)		
12/4 (木)	民裁即日起案 ※六法全書(判例注釈付きも可)使用可 ※起案時の合議不可		検察即日起案 持参資料(使用可) ・平成24年版検察講義案 ※六法全書(判例注釈付きも可)使用可 ※起案時の合議不可		
12/5 (金)	民弁問題研究2(即日起案) 持参資料(使用可) ・民事弁護修習記録第161号(第1分冊) ・民事弁護修習記録第161号(第2分冊) ・民弁問題研究1で配布した時系列表及び関係図 ・民事弁護の基礎知識(増補版) ※六法全書(判例注釈付きも可)使用可 ※起案時の合議不可		刑弁即日起案 ※六法全書(判例注釈付きも可)使用可 ※起案時の合議不可		

(注) クラス連絡委員は、当日の配布資料及び事務連絡の有無を確認するため、毎朝(原則9時20分)必ず西館中講堂に集まること。

週 間 日 程 表

12/8 (月)	<p><b>民事総合1</b></p> <p>持参資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民事総合 資料</li> <li>・プリント (実施要領)</li> <li>・プリント (使用場所一覧表)</li> </ul>	<p><b>刑事基本問題研究</b></p> <p>持参資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施要領</li> <li>・研究課題</li> <li>・刑事弁護問題研究事例第10号</li> </ul>	<p><b>刑裁即日起案</b></p> <p>※六法全書 (判例注釈付きも可) 使用可 ※起案時の合議不可</p>
12/9 (火)	<p><b>民裁即日起案解説</b></p> <p>持参資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民裁即日起案で使用した民裁修習記録及び同起案の際に作成したメモ、手控え等</li> <li>・起案後に配布した同記録関連資料</li> <li>・新問題研究要件事実</li> <li>・別冊 事実適示記載例集 (「10訂 民事判決起案の手引」別冊)</li> <li>・事例で考える民事事実認定</li> <li>・「平成26年10月 対話で考える民事事実認定-教材記録-」</li> <li>・「司法修習開始までの準備について」(別紙第2-2 民事裁判事前課題)</li> <li>・民事裁判事前課題の検討の際に作成したメモ、手控え等</li> </ul>		
12/10 (水)	<p><b>民弁問題研究3 (主張書面の書き方)</b></p> <p>持参資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民弁問題研究2 (即日起案) で使用した民弁修習記録及び同起案の際に作成したメモ、手控え等</li> <li>・民弁問題研究1 で配布した時系列表、関係図及びレジュメ</li> <li>・事前課題起案の写し</li> <li>・7訂民事弁護の手引</li> <li>・民事弁護の基礎知識 (増補版)</li> </ul>	<p><b>民弁講義1 (民事保全・民事執行)</b></p> <p>持参資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入講義1 実施要領 (設問付)</li> <li>・5訂民事弁護における立証活動</li> <li>・7訂民事弁護の手引</li> <li>・民事弁護の基礎知識 (増補版)</li> <li>・民事弁護教材 改訂 民事保全 (補正版)</li> <li>・民事弁護教材 改訂 民事執行 (補正版)</li> </ul>	
12/11 (木)	<p><b>民事総合2</b></p> <p>持参資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民事総合1に同じ</li> </ul>	<p><b>民弁演習1 (立証)</b></p> <p>持参資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入演習1 実施要領 (設問・事案・資料付き)</li> <li>・5訂民事弁護における立証活動</li> <li>・7訂民事弁護の手引</li> <li>・民事弁護の基礎知識 (増補版)</li> <li>・民事弁護教材 改訂 民事保全 (補正版)</li> <li>・民事弁護教材 改訂 民事執行 (補正版)</li> </ul>	
12/12 (金)	<p><b>民事事実認定の手法と留意点</b></p> <p>持参資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例で考える民事事実認定</li> <li>・「平成26年10月 対話で考える民事事実認定-教材記録-」</li> <li>・「司法修習開始までの準備について」(別紙第2-2 民事裁判事前課題)</li> <li>・民事裁判事前課題の検討の際に作成したメモ、手控え等</li> </ul>	<p><b>民弁演習2 (契約書の作成)</b></p> <p>持参資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入演習2 実施要領 (設問及び別紙1~3)</li> <li>・導入演習2 民事弁護実務の基礎 (契約)</li> <li>・5訂民事弁護における立証活動</li> <li>・7訂民事弁護の手引</li> <li>・民事弁護の基礎知識 (増補版)</li> <li>・民事弁護教材 改訂 民事保全 (補正版)</li> <li>・民事弁護教材 改訂 民事執行 (補正版)</li> </ul>	

(注) クラス連絡委員は、当日の配布資料及び事務連絡の有無を確認するため、毎朝 (原則9時20分) 必ず西館中講堂に集まること。

週 間 日 程 表

12/15 (月)	捜査演習		
	持参資料 ・資料「被疑者取調べ及び供述調書の在り方」 ・平成24年版検察講義案 ・検察 終局処分起案の考え方 (平成24年版)		
12/16 (火)	事前課題と起案の解説		
	持参資料 ・刑事弁護起案資料第11号 ・刑弁即日起案で使用した刑弁修習記録及び同起案の際に作成したメモ、手控え等 ・平成26年版刑事弁護実務 ・平成26年版(補訂版)刑事弁護実務 ・平成26年版刑事弁護実務(別冊書式編) ・刑事弁護講義ノート(平成25年7月版)		
12/17 (水)	刑裁即日起案・事前課題の解説		
	持参資料 ・刑裁即日起案で使用した刑裁事実認定教材及び同起案の際に作成したメモ、手控え等 ・平成21年版 刑事第一審公判手続の概要(参考記録) ・「司法修習生開始までの準備について」(別紙第3-2 刑事裁判事前課題【設問1】と自身の手控え)		
12/18 (木)	刑事共通演習基礎(公判前整理手続)		
	持参資料 ・刑事争点整理教材第8号 ・刑事共通演習基礎(公判前整理手続)実施要領 ・事情聴取メモ		
12/19 (金)	検察即日起案講評+検察官の心構え等	裁判官の役割・職務・心構え, 裁判修習のガイダンス	
	持参資料 ・検察即日起案で使用した検察修習記録及び同起案の際に作成したメモ、手控え等 ・平成24年版検察講義案 ・検察 終局処分起案の考え方(平成24年版)	持参資料 なし	
12/22 (月)	民弁講義2(弁護士の職責・倫理等)	刑弁講義2	留意事項(司法研修所事務局長) 大講堂
	持参資料 ・導入講義2 実施要領(設問付) ・導入講義2 懲戒手続きの流れ ・解説 弁護士職務基本規程 第2版	持参資料 ・実施要領(別紙1, 2あり) ・平成26年版刑事弁護実務 ・平成26年版(補訂版)刑事弁護実務 ・平成26年版刑事弁護実務(別冊書式編) ・刑事弁護講義ノート(平成25年7月版)	持参資料 ・修習生活へのオリエンテーション ・司法修習ハンドブック ・実務修習結果簿 ・地方裁判所長, 家庭裁判所長宛て「司法修習生が取り扱う裁判修習関連の情報のセキュリティ対策について(通知)」

(注1) 経理課管理係(本館1階)からの連絡事項

★ ロッカー鍵(通所生用)は、鍵を開けた状態で12月17日(水)に返却すること(クラス連絡委員が取りまとめる。)。なお、講義最終日までロッカーは鍵のない状態で使用可能

★ 傘置場の鍵をかけたまま傘を残していかないこと。

★ 教室やロッカー等の残置物は処分するので、各自が持ち込んだ物は必ず持ち帰ること。

(注2) クラス連絡委員は、当日の配布資料及び事務連絡の有無を確認するため、毎朝(原則9時20分)必ず西館中講堂に集まること。